【2013年度学術研究センタープロジェクト一覧】

2013年度東京経済大学研究助成費受給者

①個人研究助成費 支給額上限:一人につき 35 万円

	個人研究切成質 文紹額上限:一人につぎ 35 万円							
	申請者名	研究課題番号	研究テーマ	研究完了見込				
1	相澤伸依	13-01	経口避妊薬をめぐる言説の日仏比較検討	2014年3月				
2	礒 野 弥 生	13-02	リスク対応のガバナンスの研究―原発への対応を例として―	2014年3月				
3	板橋雄大	13-03	段階取得の取扱いにおける会計基準、税法規定の差異についての一	2014年3月				
			考察					
4	井上裕行	13-04	世界金融危機対応の各国経済政策の評価	2014年3月				
5	大久保奈弥	13-05	サンゴにおける骨形成関連遺伝子の探索	2014年3月				
6	尾崎寛直	13-06	被曝と被爆一放射能公害と原爆被災を中心とした社会的災害の補償	2014年3月				
	/ L H-1 / L L	10 00	に係わる比較制度・政策研究	2011 0 / 1				
7	加藤一彦	13-07	硬性憲法の脆弱性と改憲論	2015年3月				
8	カレイラ	13-08	東京経済大学1年生の英語学習に対する情意要因の調査	2014年3月				
	松崎順子	10 00	,	2011 0 / 1				
9	北村 智	13-09	 ソーシャルメディアを利用した情報環境・情報行動に関する研究	2014年3月				
10	金 成垣	13-10	後発福祉国家における雇用保障と社会保障に関する国際比較研究	2014年3月				
11	金鉉玉	13-11	上場市場間のリスク情報開示実態の比較分析	2015年3月				
12	久保健助	13-12	昭和初期帝国議会での言論の自由をめぐる議論について	2015年3月				
13	古賀絢子	13-13	父母の離婚後におけるリロケーション(子連れ転居)紛争に関する	2013年3月				
13	口貝侧」	13 13	比較法的検討―英豪比較を中心に―	2014 平 3 万				
14	佐藤 修	13-14	電子クリニカルパスの普及モデル	2014年3月				
15	新正裕尚	13-14	电	2014年3月2015年3月				
16	高津秀之	13-15	中初世の巨八墳八の旅跡で休る 近世ドイツの木版画にみる民衆とエリートのイメージ世界	2013年3月				
17	田島博和	13-16	東南アジア諸国におけるミドルクラスの消費者行動に関する実態調	2014年3月2014年3月				
17	田局時相	15-17	宋的 / ン / 拍国におりるミトルク / 入の / 有 / 1 別に 男 / る 天 悠 神	2014 平 3 月				
18	田中 景	13-18	国 在日コリアンの文化構築への考察―「対馬アートファンタジア」の	2015年3月				
10	山 中 京	15-16	在日コリアンの文化構築への考察―「別場アードアアンテンア」の 企画と実践	2013 平 3 月				
19	田中智晃	13-19	正画と天成 楽器流通の史的考察―日本における楽器メーカーと販売代理店の関	2014年8月				
19	山中有光	15-19	宋命加通の文明与宗一日本におりる宋命メーカーと販允氏柱后の国 係性一	2014 平 0 月				
20	中村嗣郎	13-20		2015年3月				
20	中村悠人	13-20	百品規空調で百品生調 刑罰の正当化根拠論に関する歴史的考察	2013年3月2014年3月				
22	西下彰俊	13-22	スウェーデンの特定コミューンにおける一般高齢者および介護職員	2014年3月2014年2月				
22	四下轮及	15-22	ヘウェーナンの行だコミューンにおりる一般同節有および介護職員 に対するアンケート調査研究	2014 平 2 月				
23	野田淳子	13-23	社会性の生涯発達をうながす諸要因の検討―多様な年代、文化、発	2014年3月				
23	打川仔1	13 23	達状況に焦点を当てて一	2014 平 3 万				
24	長谷川倫子	13-24	1960 年代末の日本における若者向けラジオ放送番組の研究	2014年3月				
25	早尾貴紀	13-25	1900年代本の日本におりる石有両のプラオ成及番組の研究 (3.11) と表象の可能性	2014年3月				
26	平	13-26	ニュージーランドにおける先住民マオリの「暴力性」の言説化	2014年3月				
27	本藤貴康	13-26	①最寄品カテゴリー研究	2014年3月				
21	平 豚 貝 尿	15-27	②最寄型小売業フォーマット研究	2014 平 3 月				
28	丸谷雄一郎	13-28	少取司至小元未ノォーマット切五 カナダにおけるウォルマートの事業モデルに関する研究	2014年3月				
- 1	光岡寿郎	13-29	カノテにおりるワオルマードの事業モールに関する明元 モバイル・メディア時代における空間概念の変容	2014年3月2015年3月				
29 30	本橋哲也	13-29	モハイル・メケイ / 時代におりる至同概念の変符 演劇表象と文化の政治学	2013年3月2014年3月				
31	安田行宏	13-30 13-31		2014年3月2014年3月				
-								
32	柳瀬典由	13-32	企業のリスクヘッジと所有構造―わが国上場企業のデリバティブ購 買に関する実証分析―	2015年3月				
22	山田 瞎洛	10.00		9015 Æ 9 Ħ				
33	山田晴通	13-33	英国バーミンガム郊外ボーンヴィル・エステート周辺地域における、	2015年3月				
0.4	11. 1 2. 12%	10.04	近年の住宅地開発の特徴	0014 5: 0 日				
34	山本 聡	13-34	企業のイノベーション・プロセスにおける知識獲得行動と組織構造	2014年3月				
0.5	+ m +=	10.05	の関係に関する研究	0014 5: 0 日				
35	吉田 靖	13-35	震災情報と企業による損失開示行動および金融証券市場による評価	2014年3月				
			に関する研究					

【2013 年度学術研究センタープロジェクト一覧】

②共同研究助成費 支給額上限:1件につき150万円

9/	○八円町九切成員						
	申請者名	研究課題番号	研究テーマ	研究完了見込			
1	森岡耕作山口みどり	D13-01	組織―環境のマネジメントに関する理論的検討	2016年3月			
	北村真琴						
2	横川太郎	D13-02	2007年以降の世界金融危機に関する理論的・制度的・歴史的研究	2014年3月			
	岩 田 佳 久 リュドミーラ・						
	サフチェンコ						

2013年度(平成25年度)学術研究費助成事業(独立行政法人日本学術振興会)

①学術研究助成基金助成金(基盤研究·若手研究)

	研究代表者	研究種目	審査区分	研究課題番号	研究課題	研究期間 (年度)
1	丸谷雄一郎	基盤研究(C)	一般	23530544	ラテンアメリカにおける新規業態開発	2011~2013
2	尾崎寛直	基盤研究 (C)	一般	23530688	志向戦略モデル構築のための研究 社会的災害の被害救済に係る横断的・ 総合的制度研究	2011~2014
3	西下彰俊	基盤研究(C)	一般	23530761	高齢者ケアに関する情報公開制度の分析ースウェーデン・日本・韓国を対象に一	2011~2013
4	山田晴通	基盤研究 (C)	一般	23614022	観光資源としてのポピュラー音楽に関 する実証的研究	2011~2013
5	カレイラ 松崎順子	基盤研究 (C)	一般	24520714	韓国の小中学校の英語教育において EBSe が果たす役割と日本への示唆	2012~2014
6	内藤隆夫	基盤研究 (C)	一般	24530383	近代エネルギー産業・鉱山業の比較史的研究	2012~2015
7	植木英雄	基盤研究 (C)	一般	24530483	中国日系自動車企業における知の移転と創造	2012~2014
8	安田行宏	基盤研究 (C)	一般	25380407	銀行・企業のリスク・テイクの決定メ カニズムに関する分析	2013~2015
9	大貫敬一	基盤研究 (C)	一般	25380946	ロールシャッハ・テスト対象関係発達 評価尺度の作成	2013~2015
10	新正裕尚	基盤研究 (C)	一般	25400527	瀬戸内流紋岩中ジルコンの年代学的・ 地球化学的研究:スラブ融解の検証	2013~2015
11	吉田 靖	基盤研究 (C)	一般	25516012	上場企業の震災による損失開示行動と その評価に関する研究	2013~2015
12	戸邉秀明	若手研究 (B)		23720327	戦後日本における在本土沖縄出身者ネットワークの実証的研究	2011~2013
13	金 鉉玉	若手研究 (B)		23730445	企業の支配構造と情報開示行動との関係	2011~2013
14	大久保奈弥	若手研究 (B)		24710275	骨の形成に関連する遺伝子をマーカー に用いたサンゴ礁のリスク管理	2012~2014
15	中川知佳子	若手研究 (B)		24720270	推論生成ユニットの言語間比較と心的 表象が語彙記憶に及ぼす影響の解明	2012~2015
16	黒田敏史	若手研究 (B)		24730223	放送・通信における電波の効率的な配 分と利用に関する理論・実証研究	2012~2015
17	柳瀬典由	若手研究 (B)		24730366	効率的な企業年金保険システムの構築 可能性―クロスカントリーデータを用 いた実証研究	2012~2015
18	金 成垣	若手研究 (B)		24730475	後発福祉国家の雇用保障と社会保障に関する国際比較研究	2012~2014
19	山本 聡	若手研究 (B)		25780243	国内中小企業の海外市場参入プロセスにおける地域公的機関の戦略的役割	2013~2015
20	北村真琴	若手研究 (B)		25780271	国内アパレルメーカーにおける MD・ デザイン外部化と商品間類似性の影響 分析	2013~2016

②科学研究費補助金(基盤研究・研究活動スタート支援)

	研究代表者	研究種目	審査区分	研究課題番号	研究課題	研究期間 (年度)			
1	小木紀親	基盤研究 (C)	一般	22530458	医療機関におけるマーケティング研究 とケース開発	2010~2014			
2	古賀 絢子	研究スタート 支援		24830091	継親子の法的規律における子の利益ー 「親子」・「婚姻」の法的意義の見直し をかねて一	2012~2013			

【2013 年度学術研究センタープロジェクト一覧】

③科学研究費補助金 (研究成果公開促進費 (学術図書))

	研究代表者	研究種目	審査区分	課題番号	刊行物の名称	研究期間 (年度)
1	岩田佳久	研究成果公開 促進費(学術 図書)		255144	世界資本主義の景気環境	2013

2013 年度 (平成 25 年度) 受託研究

	受託研究者	研究種目	委託機関	委託調査研究の題目	研究期間 (年度)
1	柴内康文	受託研究	日本学術振興会	『東日本大震災学術調査』「メディ	2013
				ア・ネットワーク」	

2013 年度学術シンポジウム

	申請者	区分	テーマ	開催予定日	開催場所
1	本橋哲也	学術フォーラム	デジタル時代におけるカル	2013年7月12日(金)	本学・国分寺キャンパス
			チュラル・スタディーズと		
			人文学		
2	大森賢二	学術フォーラム	日韓中企業とアジア新興市	2013年8月21日(水)	本学・国分寺キャンパス
			場―脱中国か汎アジアか―		
3	西下彰俊	学術フォーラム	日本と韓国における国際開	2013年9月17日(火)	本学・国分寺キャンパス
			発・経済発展・社会保障の		
			現状と展望		
4	渡辺龍也	国際シンポジウム	フェアトレード: 倫理的消	2014年3月25日(火)	本学・国分寺キャンパス
			費と社会への根付き	~3月26日(水)	

2013年度学会開催助成

	申請者	学会名	開催日	学会構成人数	参加予定者数
1	柴田 高	日本経営品質学会	2013年 4月27日(土)(1日間)	250 人	50 人
2	本橋哲也	カルチュラル・スタディーズ学会	2013年 7月13日(土)	200 人	500 人
			~14 日(日)(2 日間)		
3	関口和代	東アジア経済経営学会と韓日経	2013年 8月23日(金)(1日間)	670 人	150 人
		商学会との共催			
4	陣内良昭	会計理論学会	2013年10月12日(土)	190 人	110人
			13 日(日)(2 日間)		
5	尾崎寛直	21 世紀道路政策研究会	2013年11月9日(土)	80 人	のべ 300 人
			10 日(日)(2 日間)		

【2012年度実施プロジェクト(2012年度受入承認分)】

2012 年度学会開催助成

	申請者	学会名	開催日	学会構成人数	参加予定者数
1	小野武美	日本インベスター・リレーションズ学会	2013年3月16日(土)(1日間)	200 人	120 人

2012 年度受託研究

	受託研究者	研究種目	委託機関	委託調査研究の題目	研究期間(年度)
1	柴内康文	受託研究	東京大学	『東日本大震災学術調査』「メディア・ネットワーク」 (日本学術振興会 東日本大震災学術調査事業再委託)	2012